

# 鳴鹿まほろば

編集・発行 鳴鹿まちづくり推進協議会・えがお発信部会・鳴鹿コミュニティセンター  
 鳴鹿コミュニティセンター 丸岡町上金屋 5-10-12 TEL.66-7452  
 鳴鹿第二コミュニティセンター 丸岡町新鳴鹿 1-159 TEL.66-1094

## 第40号

(令和5年8月23日発行)  
 鳴鹿の人口  
 (令和5年7月31日現在)  
 世帯数 618戸  
 人口 1,693人  
 男 870人  
 女 823人



かたいけの～(元気やったか～)  
 おかげさんで～(お陰様で～)

令和5年度 鳴鹿地区敬老会開催..2P

## 放課後 子ども教室

鳴鹿・鳴鹿第二共催



夏休みパン教室  
 7月28日(金)

## 鳴鹿地区区長会

### いざ！関ヶ原へ 鳴鹿地区区長会研修

7月 9日(日)



大河ドラマ「どうする家康」の話題から時代探検を目的に、岐阜県関ヶ原古戦場記念館を視察しました。ライブラリーでは、東西16万人が戦った戦場を迫力ある映像で見ることができました。研修旅行で、区長さん同士の結束が深まり、鳴鹿地区の発展に寄与できると確信しています。(区長会長 小林)

## コ ミ セ ン 講 座

ラクちん♪健康体操  
 4月19日～(全21回)



青空野菜塾 4月22日～(全5回)



そば打ちボランティア入門講座  
 6月9日(金)



やさしい太極拳 5月16日～(全10回)



ゆるっと“ボディメイク”  
 健康ヨガ教室(第二)  
 5月12日～(全11回)



### 部会委員のちよつと聞いての

イベントが再開され始め、4年前を思い出しながらの会議に一苦労。しかし、それが新しいアイデアへとつながり、イベントを作っているという達成感を得られました。イベント中、久しぶりに再会する人もいたのですが、よく考えたらマスクを外しただけで、ついこの前あったばかりの人だったことも。(◎M)

### 坂井市防犯隊 永年勤続章(30年)

6月25日、坂井市防犯隊錬成会が開催され、永年勤続者を対象とした表彰式がありました。

丸岡第一支隊 中山 秀雄さん(上久米田区)



NARUHA2CC



NARUHACC

インスタでは、鳴鹿地区の旬な情報もアップしています。いいね、フォロー♡ 待ってまーす!

### 辰川センター長の春夏秋冬

明治時代に建てられた鹿鳴館(ろくめいかん)が人を迎える場所だという。鳴鹿という地名、同じ意味を込めて、人を迎える素晴らしい場所になって欲しい。

障がいを持った方と通訳の方2名を講師に招き、2回にわたり『手話教室』を開催し、鳴鹿地区以外の方を含め幅広い年代の10名の参加をいただきました。

「手話は言語である」と認識され、坂井市でも平成31年に「坂井市手話言語条例」を制定し、手話への理解と普及に努め、障害のあるなしにかかわらず共生できる地域社会の実現を目指すとしています。

手話は、手指や体の動き、顔の表情を使って視覚的に表現する言語です。



## 「手話は言語」!

5月26日(金)  
6月23日(金)



## いいね! まち協

まち協の事業、活動を紹介します!

語であり、音声言語でのコミュニケーションと同様の言語です。手指の動きに合わせた顔の表情表現が思ったより難しく、またマスク越しではなかなか伝わりづらく、皆さん苦労していました。それでも、一つ一つ手話を覚えて、片言の会話ができると楽しくなっています。教室は2回で終了しましたが、手話を続けて学びたいとの参加者の強い意欲により、7月以降も自主サークル「しゅわしゅわ」として活動を続けています。みんなと一緒に楽しく学んでいくゆつたりとした活動にしていきたいと思っています。

興味のある方は、気軽にお声掛けください。お待ちしております。  
(委員長 前川)

### 新鳴鹿交差点



安全に登下校ができるようになります!



6月25日(日)

6月25日(日)

### 通学路点検・110番の家の看板点検

主要交差点・通学路の草刈り及び花壇の手入れを行いました。快晴に恵まれた早朝・総勢20名が額に汗をかき頑張りました。

特に新鳴鹿交差点付近で背丈以上に伸びた草や草刈り機では手に負えない木々には、手こずりました。しかし、草刈りが終わったみんなの顔には、笑顔があり楽しい会話もありました。子供たちが花壇を見て楽しく、安全に通学してくれることを願って、解散しました。  
(委員長 朝倉)

通学路の注意箇所は、「雑草で路幅が狭い」、「見通しが悪い」など。「こども110番の家」や「飛び出し注意」の看板にも交換必要な箇所がありました。皆さまも気付いたことがありましたら、コミュニケーションセンターにご連絡願います。(委員長 酒井)



6月18日(日)4年ぶりに鳴鹿地区敬老会が開催されました。



# まほろば学習会 熱心にメモを取る

鳴鹿小学校6年生が「六呂瀬山古墳群」について学びにやってきました。



鳴鹿コミセンにて、見学前の学習会 **6月22日(木)**



講師はセンター長

六呂瀬山古墳群へ見学 **7月6日(木)**



学芸員さんが丁寧に説明してくれました



見学後は鳴鹿大塚へ



- ✓ 耳寄り情報
  - ✓ 地域の話
- どんな事でもお聞かせください

## 鳴鹿地区の頑張っている子供たちを勝手に応援するコーナー

現在、丸岡南中学校サッカー部には、鳴鹿出身の選手が8名在籍しており、そのうち、5名が3年生です。今回は、主将を務める黒田智樹さんをはじめ、今本大翔さん、清水翔月さん、前田啓太さん、大谷海翔さんにインタビューを行いました。

清水：先に点をとりながらも、前半のうちに同点に出来て、流れを渡さなかつたことだと思います。  
今本：みんなで協力して練習に取り組めたからだと思います。



**6/23・24に行われた坂井地区予選で優勝しましたが、どんな心境ですか？**  
黒田：最高に嬉しかったです。  
大谷：とても嬉しかったです。  
前田：この結果に満足せずに、切り替えて、次の試合に臨みたいです。  
清水：決勝戦は納得できる試合内容ではなかったで、負けても悔いのない試合内容にしたいです。  
今本：指導してくれたさっく荒井先生に優勝旗を渡すことができてとても嬉し  
いです。

**優勝出来た勝因は何だと感じていますか？**  
黒田：みんなの協力のおかげだと思っています。  
大谷：やっぱり、僕の盛り上げでしょ??  
前田：日々の練習の成果が出たからだと思います。



## さかい未来創造座談会 **7月19日(水)**

鳴鹿地区の現状や将来に向けてのアイデアを市長と会談する機会を頂きました。市長からはその都度、自らの考えをお話いただきました。防災、福祉、子供達の未来に、前向きな座談会になりました。

- ①鳴鹿地区区長会長・7/19発生した大雨災害について
- ②区長会上金屋区長・五領川の浚渫及び計画的な改修について
- ③鳴鹿まち協部会委員長・古墳資料館の建設について
- ④ボランティアなるか代表・高齢者の居場所づくりについて

- ⑤鳴鹿・明章サッカーSS監督・専用グラウンドの確保について
- ⑥鳴鹿まち協部会副会長・少子化に伴う将来の布石について
- ⑦鳴鹿まち協部会委員長・新鳴鹿2丁目の現状について

内容の一部は、坂井市ホームページで閲覧できます。

青少年育成坂井市民会議鳴鹿支部  
・まち協 すこやか元気部会

**7月23日(日)**

## ラジオ体操をして、すがすがしい朝を迎えよう!



今年の参加賞は「放射ラメラリエコバッグ」



## まち協Info

- ◆丸岡古城まつり総踊り **10月8日(日)**  
参加者募集中! 参加したい方、コミセンまでご連絡を!
- ◆まほろばフェスタ in鳴鹿 **10月15日(日)**
- ◆まほろば歩こう会 **10月29日(日)**
- ◆イルミネーション点灯式
- ◆クリスマスコンサート



※都合により予定が変更する場合があります。ご了承ください。

中学での部活動で、一番印象に残っていることは何ですか? (まだ先はありますが...)

黒田：毎日のハードな練習です。  
大谷：昨年の北信越大会の準決・決勝で、Jリーグチームのホームスタジアムでもある芝のピッチでサッカーができたこと。  
前田：新人戦です。自分たちが中心の初めての試合だったので。  
清水：昨年、全国大会に出場出来たことも印象に残っていますが、冬の練習で地獄のような走り込みをしたことです。  
今本：冬の走り込みですね。。



主将：黒田さん (新鳴鹿2)

部活動での経験を活かして、今後の目標、こうなりたい、こうしたい、と思  
っていることはありますか?  
黒田：礼儀正しい人間です。  
大谷：靴を揃えることや、挨拶することなど、人として当たり前のことができ  
る人になりたい。  
前田：人として当たり前のことができ  
るような人になる。  
清水：自分を指導してくださる方々、



清水さん(六呂瀬)



今本さん(新鳴鹿3)

地域の方々、後輩たちに伝えたいことはありますか?  
黒田：これからも、南中サッカー部を支えて下さい。  
大谷：今、2年生以下の部員数が11人ちょうどと危機的状況です。なので、どうか南中サッカー部へ入部してくだ  
さい。

前田：応援よろしくお願いします。  
清水：一生懸命中学校最後の大会に挑みます。会場まで来てくださらなくても、心の中で応援してくださいだけで嬉しいので、よろしければ応援よろしくお願いします。  
今本：今後部員が少なくなり大変なことがあると思いますが、この南中サッカー部の歴史が続いて欲しいと思います。



前田さん(上久米田)



大谷さん(東二ツ屋)